

わたし の本棚

「夜は短し歩けよ乙女」

◎角川書店
森見登美彦著



所 在：ベストセラー

ウェルネス支援室 佐藤 宣子

この本を手にとるとまず目につくのは中村佑介の表紙かわいもありません。かわいい女の子に目を引かれつつ、ノスタルジックかつファンタジックな絵柄に釘付け。小脇に抱えているだけでなんとなくおしゃれです。

とはいえ装丁以前に中身が主役です。本を開くと目に飛び込むのはぐるぐるんと飛び交う古めかしい文体。でもなんだかかわいい。その中で大学生である「先輩」と「黒髪の乙女」の物語がスタートします。

簡単に言えば、彼女いない暦 20 数年の男子が、奇人変人に囲まれながら後輩の天然女子に恋をして、都合の良い妄想をしつつも、あの手この手を使ってとりあえず視界に入ろうと試みる物語です。色々ざりざりです。それでも彼女に上手く近づけない自分への苦悩の間でぐるぐるさ迷う「先輩」。もどかしさから自棄を起こしつつ、風邪までひいちゃいます。そんな「先輩」の苦悩が、自分への思いのためとは気付かずに心配する天然少女「黒髪の乙女」。二人の恋路はどうなるのでしょうか。つらい時間は果てしなく続くように感じられます。そんな誰かを見ると、「先輩」を心配する彼女へ向けられた言葉が思い出されるのです。「風邪を引いた夜は長い…しかしな、たとえどんなに長い夜でも、きっと夜明けは来るであろう。夜は短し、歩けよ乙女！」



図書館からのお知らせ



☆夏季休業中の長期貸出

期 間：平成 23 年 7 月 30 日（土）～

返却日：平成 23 年 9 月 13 日（火）

対象資料：図書

*ベストセラーも含む、貸出冊数は通常と同じ

☆館内の書架の移設・新設について

東日本大震災関連資料(禁帯資料)・・・3F フロアに新設しました。

トラベルガイドコーナー・・・2F フロアへ移設しました。

ベ ス ト セ ラ ー・・・2F フロアへ移設しました。

閱 覧 席・・・・・・・・・・2F フロアに増設しました。

☆その他

紙芝居コーナーに「高齢者向けの紙芝居」を受入れました。

貸出できますので、ぜひご利用ください。

ースタッフ紹介ー ◇ 新スタッフを紹介します。◇

今年の春に東北福祉大学心理学科を卒業した吉田千紘です。短い間になりますが大学の図書館で働くことになりました。よろしくお願い致します。

ー 編集後記 ー

今回は新コーナーの「わたしの本棚」が加わり、ウェルネス支援室の佐藤さんにご協力いただきました。どうもありがとうございました。この度は震災の為、発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。皆さんから楽しんでもらえる「としょかんぼう」を発行し続けたいと思います。

東北福祉大学図書館報「としょかんぼう」 No. 13 2011 年 7 月

編集・発行 東北福祉大学図書館 〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1

TEL: 022-717-3319 FAX: 022-717-3309

E-mail: lib@tfu-mail.tfu.ac.jp

http://www.tfu.ac.jp/libr/tful.html



としょかんぽう

東北福祉大学図書館報

Tohoku Fukushi University Library News

No. 13

TFUL NEWS
2011 July



ブックレビュー

経営人事管理論

産業福祉マネジメント学科長 佐藤 正男

文部科学省は大学設置基準を改めて、今年度から大学教育の一環として「キャリア教育」の重要性を打ち出した。これを受けて各大学は、学生の就職活動支援に加えて、職業人養成の観点から就職後の企業等における「就業力」の向上に繋がる教育の取り組みを実施することとなった。

そこで、本学の学生が就職活動に強くなること、および就職後の就業力の向上に繋がることを念頭に、恐縮ながら敢えて、拙著『経営人事管理論』（弘文堂、2011年）を薦めたい。

さて、それでは、そうした2つの観点から拙著について以下にかいつまんで紹介させて頂こう。まず第1の観点（就職活動に強くなること）については、①企業等が求める人材像を読み取る一端として、組織機能を促進しその成果を上げることに直結する、あるいは源泉・基盤となる信頼、自己規制、コミットメント等の「組織的価値」について取り上げるとともに、その有益性と理由・背景についても論述したこと、②人事制度（格付け制度、人事評価等）について詳述し、「企業が求める人材像」に言及したこと、などを挙げることができよう。

第2の観点（「就業力」の向上）に関しては、①職業人としての基礎・基盤となる労働観や働く意味について取り上げたこと、②各章ごとに参考文献を記載することで、学生に対して学問的視野を広げ深めるべきことを促したこと、③脚注を活用することによって関連する学説や見解などについてより深く考察したり、著者の意を汲んだり、多種多様な状況への対応について想定・想像してみたりすることにより、学問に立ち向かう態度を磨くことの大切さについて促していること、④文中にトピック、付言等を織り込むことなどにより、学生が広い視野をもち、多種多様な状況への対応力を高めるための一助となることを意図したこと、また、就職活動を展開する学生も大変であるが、採用する企業側もそれに劣らず真剣にならざるを得ない事由・背景があることに関しても言及してある。というのも、学生が企業側のそうした事情を理解することにより企業等が求める人材像についてより深く読み取ることができるからである。

いずれにしても、学生諸君が「就職活動力」と「就業力」の向上を図ることに集中し、それらに対する目的意識なり問題意識なりを旺盛にして拙著と向き合うならば、学生にとって有益な一冊となるのは間違いないと確信する。

「経営人事管理論」

弘文堂
佐藤正男著



所在：学生閲覧図書

請求記号：336.4/サト/学関

ライブラリーサポーター紹介

ライブラリーサポーターに新しいメンバー12名が加わりました。昨年からの継続の9名とともに、みなさんの図書館利用をサポートしていきます。気軽に声をかけてくださいね。どうぞよろしく！



今年から図書館ロゴ入りエプロンを着用しています。



●●●●●秋葉 真理子●●●●●

以前から本に関わりたと思っていて、図書館での仕事に興味があったのでライブラリーサポーターになりました。早く仕事を覚え、笑顔で頑張ります。

●●●●●浅田 真実●●●●●

福祉心理学科3年です。接しやすいライブラリーサポーターとしてサービス提供ができるよう、頑張っていきたいと思っています！

●●●●●阿部 誉大●●●●●

4年生なのに新人です。1年間しかいませんが、真面目に頑張ります。たまに失敗します。あとバイト中はお腹を空かしています。

●●●●●大島 彩●●●●●

元々図書館の雰囲気が好きでサポーターになろうと決めました。初めて書庫に入った時は、図書館の裏側を知れたような気がしました。

●●●●●大友 航●●●●●

ライブラリーサポーターは以前から取り組みたいと思っていました。利用者のニーズに対してきちんと応えられるよう頑張ります。

●●●●●大場 裕●●●●●

新規サポーターの大場裕です。利用者の方が図書館を快適に利用できる対応を心掛けていきたいです。よろしく願いします。

●●●●●柏山 里司●●●●●

私にとって図書館は静かで落ち着く場所で、そこで働くことに少し憧れていました。皆さんが気持ちよく利用できるよう頑張ります。

●●●●●熊坂 美希●●●●●

大学の図書館ってどんな感じが興味を持った事がきっかけで、ライブラリーサポーターになりました。まだまだ新米ですが頑張ります。

●●●●●齋藤 はるか●●●●●

想像以上に難しい仕事に毎回ドキドキしていますが、図書館を気持ちよく利用していただけるよう、頑張っていきたいと思います。

●●●●●佐藤 萌美●●●●●

少しずつ仕事には慣れてきましたが、もっときばきと働けるようになりたいです。卒業までに配架のプロを目指して頑張ります！

●●●●●菅原 美由紀●●●●●

仕事を始めて興味深い本のタイトルを見つけていくうちに本の面白さを感じ始めました。これからも様々な本と出会っていきたいです。

●●●●●千田 美穂●●●●●

福祉心理・3年の千田美穂と言います。皆様使いやすい図書館にするために丁寧にお仕事したいと思っています。よろしく願いします。



図書館日記♪

～ライブラリサポーター
の1コマ～

図書館でライブラリーサポーターを始め早くも二度目の夏が来ました。私がライブラリーサポーターを始めきっかけは、内部の視点から図書館を見てみたいと思ったからでした。

月日を重ね、色々な方が図書館を利用して下さっている事に気付きました。本学の学生、教員は勿論のこと、地域住民の方、卒業生、他大学の方…。色々な方が本や資料を求めて図書館を利用して下さいます。私は、本や資料を架け橋に多くの利用者の方々と出会う事が出来る、その事をとても嬉しく感じるようになりました。そして、より多くの方に図書館を利用して頂きたいとも思いました。その気持ちは大震災を経て、格段に強まりました。図書館の職員の方々、ライブラリーサポーター仲間との再会を果たし、図書館の完全復旧に向け気持ちを新たにしました。

また、図書館は進化し続けていきます。新年度からは2階に新たに閲覧室が設けられ、本の閲覧や勉強のためのスペースが格段に広くなりました。

その他にも、本の配置など何箇所か変わった点が有りますので、是非図書館まで足を運び、その違いを感じて頂けたらなと思います。

それでは、図書館で皆さんと出会える日を楽しみに待っています！
(ライブラリーサポーター:4年 熊坂 竜太)



東日本大震災 図書館では…

3月11日に発生した東日本大震災は、今までに経験したことのない大地震で、その後に押し寄せた津波は想像を超える大きな被害と爪痕を残しました。この度の災害で被災されました方々に深くお見舞い申し上げます。

図書館でもたくさんの資料が床へ落ち、書架と書架の間に落ちた本が山のように埋もれたり、書架や壁などの損傷があったりしましたが、図書館内でのケガ人はいなかったのが幸いでした。震災以来約1ヵ月半の間、図書館は休館しており、学生や教職員の利用者の方にはご不便をおかけいたしました。休館中は、職員総出で床に落ちた資料を一つ一つ手にとり、書架へ戻し、請求番号順に並べ直す作業を繰り返して、ようやく4月26日の開館となりました。

現在書庫の利用は制限がありますが、皆さんが一日も早く通常の利用できるよう整理を進めています。この整理作業には沢山の学生アルバイトさんに携わっていただいております。心から感謝申し上げます。

震災の影響はとても大きかったのですが、利用しやすく、より良い図書館となるよう今後も力を合わせ歩んでいきたいと思っております。
(稲妻・五十嵐・菅原)

